

# RefGrapher® について

## RefGrapher (本文) ウィンドウ

各ページの上段にある「目次」では、左端のポップアップから大項目を選択することができます。選んだ大項目によって右のポップアップの項目が変化します。

「概要」や「説明」ボタンをクリックすると概要や説明がある場合はそのウィンドウが開きます。また、選択した項目のスクリプト例が複数あるかは左右移動矢印の右に「3 / 544」のように表示されます（この例は、全体で 544 ページある内の 3 ページが現在の項目に該当するという意味です）ので、矢印ボタンをクリックして前後のページに移動して内容を見ることができます。さらに、右端の数字が表示されているページフィールドにページ番号を半角の数字で入力して「Tab」「Enter」または「Return」キーを押すと、直接そのページに移動することもできます。全体のページ数以外は目次行ポップアップから選択した項目の相対ページ（数）です。

上段中央のポップアップには、通常は「（定義済みの値なし）」と表示されていて項目は選択できませんが、「グラフ」の場合にだけグラフの種類が選択できるようになります。xmCHART 4 にはバーコードを含めて 32 種類の基本パターンがありますが、例えば「棒グラフ 2D」というグラフは「棒グラフ」にまとめてありますので、選択できるタイプ数は 17 種類になっています。

選択しているページに関数がある場合には、右上にある青いボタンを使って「関数」「引数」または「スクリプト」フィールドからテキストを検索することができます。「検索」ボタンをクリックして「関数」「引数」または「スクリプト」フィールドに検索する文字列を入力し「実行」ボタンをクリックすると該当するページが抽出されます。ページ数は項目を選択した場合と同様に「33 / 506」のように表示されます。「中止」ボタンをクリックすると検索は中止され元のレイアウトのページに戻ります。

「関数」の欄には現在のページの関数が引数名と共に表示されます。関数がない場合は空欄です。引数名は意味を表しているだけで定数ではないので注意してください。定数はすべて数字かアルファベット（いずれも半角）です。詳しくは「定数」をご覧ください。

「引数」フィールドの「注」にある ⇐ 内は、その引数で利用できる定数名です。この定数名も意味を表しているだけで定数そのものではありません。

「デフォルト」ボタンをクリックすると現在のページのスクリプトとグラフがデフォルトに戻ります。option (Alt) を押しながらクリックすると全ページのスクリプトとグラフがデフォルトに戻ります。この場合にはプログレスバーが表示され多少時間を要します。

「現状」ボタンをクリックすると、現在のスクリプトの内容でグラフが表示されます（出力は無視されます）。option (Alt) を押してクリックすると、出力関数 (SaveAs...) が定義されている場合には外部ファイルにも出力されます。拡大表示ウィンドウのグラフも更新されます。スクリプトを変更してフィールド外をクリックしてもグラフが更新されます（出力はされません）。

「拡大表示」ボタンをクリックすると、「拡大表示」ウインドウが開いて現在のグラフが表示されます。スクリプトが変更されていれば更新後のグラフが表示されます。「戻す」ボタンについては「拡大表示」ウインドウの説明をご覧ください。  
ウインドウの右下に現在のページ番号（絶対番号です）が表示されます。

## 拡大表示 (ウインドウ)

通常は、現在 **RefGrapher** に描画されているグラフが表示されます。グラフがない場合は開きませんが、開いていると空欄または該当するメッセージが表示されます。

option (Alt) を押しながらレコード移動や選択している目次項目の変更あるいは検索の実行を行うと、**RefGrapher** は更新されますが拡大表示のグラフは元のままで変更されません。この状態で右上の「戻す」ボタンをクリックすると移動した **RefGrapher** 本文のページが元（拡大表示）のページに戻ります。

また、option (Alt) を押しながらグラフフィールドをクリックすると現在 **RefGrapher** に描画されているグラフに更新されます。

これらの機能を使うと、グラフを作りながら分からなかったり確認したい項目があるページに移動したり検索して参照することが簡単にできます。

左上のポップアップで 3種類のサイズから表示フィールドを選択することができます。

右上の「本文表示」ボタンをクリックすると、**RefGrapher** 本文のウインドウが前面に表示されます。ウインドウを隠していたり最小化してある時に再表示させるのに便利です。

その隣の「コピー」ボタンをクリックすると現在表示されているグラフがクリップボードにコピーされます。クリップボードに対応していればどのファイルのどの場所にもグラフをすぐにペーストすることができます。Illustrator にコピーしたグラフは部品分解して再加工することもできます。

上 2行目の「種類」の右には、現在 **RefGrapher** が表示しているページ内容の「種類」が表示されます。その右側には 種類 = グラフ の場合だけグラフのタイプが表示されます。

右端には現在の **RefGrapher** のページ番号（絶対番号です）が表示されます。

3行目の「描画待ち時間」を使うと、**RefGrapher** でのグラフ更新時に矢印が回ったり描画がちらついてスムーズに行われない場合などに待ち時間 (0.1秒単位) を調整することができます。この現象はユーザのシステム環境に左右されますので、実行マシンで確かめる必要があります。

## 動作環境

- オペレーティングシステム (クロスプラットフォーム)
  - Mac OS X 10.7 以上
  - Windows 7 以上
- FileMaker Pro とバージョン
  - FileMaker Pro (Advanced) 12 以上 (13 ～を推奨)
- ClickGrapher 5 または xmCHART 4.0.6

## ご注意

- **RefGrapher** には ClickGrapher グラフエンジンおよび xmCHART は付属していません。  
前もってどちらかをインストールしてください (製品版にはライセンスが必要です)。

## 試用版について

**RefGrapher** のアカウント名は **user** です。パスワードはありません。  
ライセンスをご購入頂き試用版をアクティベートすると製品版として動作します。

試用版には次の制限があります。

- 一回の試用時間は **RefGrapher** を起動してから **30分間**です。  
制限時間を超えると **RefGrapher** はメッセージを表示して終了します。  
**RefGrapher** を再起動すると、また同一の制限内でご利用頂けます。
- 試用版では ClickGrapher や xmCHART の制限も受けます。

## ライセンス購入とサポート

**RefGrapher** 製品ライセンスのご購入は、**FileMate ストア** をご利用ください。

FileMate ストア

(電話での対応は致しておりませんのでご了承ください)

URL : <http://www.filemate.tokyo/store/index.html>

e-mail : [store@filemate.tokyo](mailto:store@filemate.tokyo) (購入についてのご質問)

ご購入後のサポートについて。

URL : <http://www.filemate.tokyo/support/index.html>

e-mail : [tech@filemate.tokyo](mailto:tech@filemate.tokyo) (購入後の技術的なご質問)

FileMate, a division of Ascattolle Inc.

e-mail : [public@filemate.tokyo](mailto:public@filemate.tokyo)

URL : <http://www.filemate.tokyo>

この文書に記載された内容は情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承くださいようお願い申し上げます。

**RefGrapher®** は **Ascattolle Inc.** の商標です。その他のブランド名、ロゴ、製品名等は、該当する各社の登録商標または商標です。